



# 藤生 おさむ

皆様にはいつもお世話になります。本号では2025年9月議会の一般質問や、土木建築委員会での活動などについてお届けいたします！任期も1年半を切りました。引き続き全力で取り組んで参ります！

## 9月議会 一般質問

### パークロード周辺のまちづくりについて

問題意識

- パークロード周辺には築50年以上の公的な文化・教育施設が多く立地
- 中でも間もなく築100年を迎える「春日山庁舎（旧県立図書館）」と「防長先賢堂」は由緒ある公共近代建築であるが倉庫になっており低利用の状態
- パークロード全体を俯瞰的にみると市と県の類似施設が点在しており、**集約化や利用者目線での施設配置、公共近代建築のリノベーション活用**など検討すべき



春日山庁舎



防長先賢堂

1928年竣工の  
格式高い建物  
県庁前の好立地  
に佇んでいます

質問

築100年に近い「春日山庁舎」ならびに「防長先賢堂」の維持管理方針と利活用方策を伺う。

答弁

春日山庁舎については、必要な修繕を行ながら、地域の特性も踏まえつつ、今後のあり方について検討する。防長先賢堂についても、その価値にふさわしい維持管理に努めるとともに、博物館の教育普及講座において見学コースに組み込むなど、新たな利活用方法を検討する。

質問

施設の集約化や利用者目線に立った施設配置、既存施設のリノベーション活用など、県有地と市有地を一体的にとらえてのパークロード全体のエリア整備の必要性について見解を伺う。

答弁

パークロードを含む亀山周辺ゾーンは、文化教育施設が一体となった県都山口のシンボル的文化ゾーンを形成する重要な地域であると認識している。山口市が目指すまちづくりの実現に向け、県としてもパークロード全体のエリア整備を支援する。

### 退職自衛官の就農促進施策について

問題意識

- 自衛官は50代で定年を迎え、セカンドキャリアに課題
- 将来の不安定要素が募集にも影響（募集定員割れ）
- 一方、農業側は高齢化と人手不足
- 会社員等が定年後に就農するかつてのモデルは、定年が高齢化するにつれて限界にきている

自衛隊と農業の問題を組み合わせることで  
課題解決を図れないか！？

現実は、自衛官の再就職をほぼ100%斡旋する

自衛隊援護協会に対し農業法人から求人票が出されたことはない



答弁

#### 農業自衛隊とは

- 現役の自衛隊員有志で発足
- 退職前から農業に馴染み、農家コミュニティに溶け込む場が重要
- そこで、休日には自衛官が農家から指導を受ける場づくりを提供
- 将来は退職自衛官の受け皿となる農業組織をつくるんだと熱い夢！



農業自衛隊の皆様と援農（千葉県多古町）

- 自衛隊援護協会に対し県内の農業法人から求人票が出されていないことの原因と対策について伺う。
- 県内約4,000名の隊員が働いておられる本県は、農業と自衛隊のマッチングには大きなポテンシャルがある。農業への参入障壁（農家コミュニティへの溶け込み、金銭面）を踏まえ、退職自衛官の就農促進施策について伺う。

農業法人は即戦力となる若い人材を望む傾向があるが、援護協会への求人票の提出を促すとともに、定年退職前に専門研修を受けられるよう研修コースを設置する。金銭面では、導入経費の補助や遊休資産の活用を一層推進する。コミュニティに溶け込むための施策として、希望する地域での事前の就農体験を通じて、就農後も農家の方々とのコミュニケーションが図れるよう支援する。

### 特定地域づくり事業協同組合について

問題意識

#### ★ 特定地域づくり事業協同組合とは？

⇒人口急減地域（=過疎地）にのみ認められる制度で、組合から派遣する人件費や運営費に対して国と市から補助が受けられる

- 中山間地には農業や生活に欠かせない仕事がある一方、人を雇用するほどの規模はない場合も多いため、**地域で繁忙期の異なる仕事を組み合わせ**、本組合で人材派遣すれば有利に地域経営できる
- 山口県には現在3組合（うち2組合は2025年設立）あるが、**設立数が多い県では下記事例のような独自の追加施策を講じている**

特定地域づくり事業協同組合への支援策について伺う。

市町や関係団体と連携して助言を行うとともに、お示しの事例も参考にしながら、さらなる支援策の必要性について検討する。



先進事例

#### 資金面

鳥取・大分では市町村の負担額の半分を県が助成  
兵庫県では独自事業に補助

#### 専門員の配置

福島・熊本・鹿児島では組合発起人の掘り起こし、関係者調整、各種申請、会計等支援

#### 制度運用の弾力化

佐賀は派遣全体の5割以内であれば、組合が存する市内に限り市街地も派遣可

#### 人材確保

福島では専用Webサイトやオンライン説明会で組合の人材確保を支援

#### ネットワーク

鹿児島県・長崎県は県内の組合が集まる場づくり実施



# 土木建築委員会

## きらら博記念公園における経済効果の創出について

質問

中国地方最大級のフローラガーデンや大型複合遊具が整備されて来場者が大きく増加しているが、園内にお金を落とすところが乏しい。公園の維持管理や経済効果創出のためにも、設置管理許可※を活用して公園で経済活動できることを周知してはどうか。

※公共的な要素が認められればカフェなど公園内に設置できる

飲食施設等の設置管理許可について、民間事業者と具体的な参入条件等の対話を実施しているが、特定の事業者だけでなく、気軽に民間参入の動きがつながる公募のありかたについて研究する。

答弁

## きらら博記念公園 施設設置管理者を公募中！

施設の設置管理を希望する交渉権者を募集しています。大型遊具広場へはなんと休日は約8,000人の来場があるそう！園内で事業を行いたい民間企業様からのご提案をお待ちしています。



公募対象施設 詳細は[こちら](#)⇒

1/18まで

- 宿泊施設、温浴施設
- 売店、レストラン、その他収益施設
- アスレチック、マリンアクティビティ施設等



大型複合遊具広場  
(愛称：きららんど)

## 建設残土の処分について



質問

県発注工事において建設残土の処分価格は700円/m³で積算されているが、その価格ではどこの処分場も受け入れてもらえない、残土を捨てるほど赤字になるという声を聞く。処分場不足が影響しているかもしれません。適切な相場観を形成するためにも公共残土処分場が必要ではないか？各地域の相場観をふまえた発注仕様となること、建設残土を他工事などに有効利用するためのマッチングの推進を求める。

答弁

実際に施工業者が負担している費用については承知していないが、残土処理場の確保は重要事項であり、業界団体等と連携を図りながら残土処理場の確保に努める。残土の有効利用のため、県以外の国や市町の工事とマッチングが進むようシステムを導入・運用を開始しており、運用の中で生じた課題を検証しながらマッチング率の向上につながるよう取り組んでいく。

## 空き家対策について

質問

空き家は周辺エリアの価値を下げる事から対策が急務。特に本県において、特定空き家や管理不全空き家※の認定が進んでいないことが、空き家が放置されている一因と考える。実際、近隣の空き家に悩む住民が市町に相談に行っても、いつまでにどういう督促をするとか、所有者の反応がない場合はどうするか等、具体的な対応がルール化されておらず、空き家認定が進まない原因と考える。国交省の空き家対策ガイドラインも具体的とはいえないが、県外には空き家の認定に積極的な自治体もある中で、本県の方策を伺う。

答弁

市町に対する説明会や会議において、所有者に対する周知や指導のルール化ができていないことについて方策がないか話をしていく。

### 【データ】

■山口県全体（令和7年3月末時点）

- 特定空き家 72件
- 管理不全空き家 12件



■函館市（人口約23万人）

- 特定空き家 350棟（令和3年度）⇒313棟（令和6年度）  
⇒空き家対策担当者の増員と解体費助成の周知の効果も

山口県では  
空き家の認定が  
進んでいないのでは？

※特定空き家や管理不全空き家に認定されると、住宅用地に適用される固定資産税の減免が受けられなくなります。逆に言えば、特定空き家に認定されないことが空き家のまま放置する動機になり得ます。

## 委員会視察



愛知県立公園内にレストランやキャンプ場

- 小幡緑地の民間活力導入施設「オバッタベッタ」
- Park-PFI：公募で選定された民間企業が収益施設を設置・運営し、その収益を公園の維持管理に還元する
- 設置管理許可期間の延長や建ぺい率緩和といった特例措置



清水港

クルーズ船誘致に  
資する港湾整備



中部地方整備局

気象予測技術を活  
用したダムの高度  
運化について座学



木屋川工業用水道二条化工事



- 水道管の老朽化に起因する事故が多発する中、県では工業用水の安定供給のため、二条化（バイパス）工事を進めています

## 自 主 視 察



食と癒しを起点にした  
民間主導の地方創生！

VISON（ヴィソン）  
(三重県多気町)



産地連携の可能性を探る  
長崎中央卸売市場  
(長崎県長崎市)



6次産業化で年間50万人  
訪れる直売所に！  
おおむら夢ファームシュシュ  
(長崎県大村市)



防長英靈の塔慰靈祭参列  
(沖縄県糸満市)